

岩手県立久慈工業高等学校



創立 昭和55年 4月1日

開校記念日 毎年 5月4日

所在地 〒028-8201 岩手県九戸郡野田村大字野田第26地割62番17

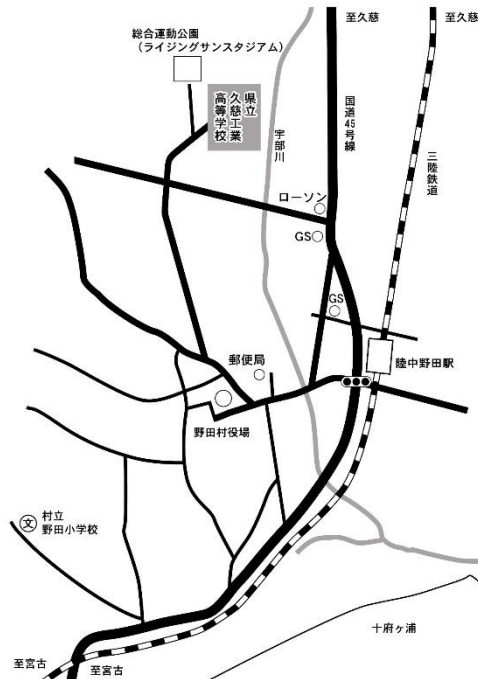
電話番号 0194-78-2123

FAX 0194-78-4190

HP <http://www2.iwate-ed.jp/kut-h/>

交通機関 三陸鉄道北リアス線 陸中野田駅下車徒歩20分

校長名 藤原 徳久



1 設置学科等

課程	学科名	設置年度	令和4年度生徒数		
			1年	2年	3年
全日制	電子機械科	平成4年	19名	12名	8名
	建設環境科	平成19年	4名	10名	11名

2 本校の目指す学校像

本校は、工業教育を中心に、部活動、学校行事、資格取得など充実した教育活動をとおして、「元氣な挨拶と思いやりを心がけ、心身を鍛え合う生徒」を育て、生徒一人一人に力を付ける「生徒の輝く姿が見える楽しい学校」を目指しています。

3 令和5年度の入学者選抜方法について

(1) 推薦入学者選抜（令和5年度）

学科名	全学科（電子機械科、建設環境科）	定員	各科40名
募集定員	各科10%（各科4名）		
推薦基準	<p>次の1～4の条件を満たした上で、5の条件に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 本校の教育を受けるに足る能力・適性をもつ者 基本的な生活習慣を身に付けている者 志願理由が明確かつ適切であり、入学後の意欲的な高校生活が期待される者 ものづくりへの興味・関心が強く、工業に関する機械操作や製作実習に意欲がある者 次のいずれかに該当する者 ただし、当該の活動を義務づけるものではない。 なお、(1)～(6)は応募資格Aに該当する。 <p>(1) スポーツ活動 : 県大会出場または地区大会3位以上の成績で主力選手として活躍した者、または、それと同等の実力が認められる者</p> <p>(2) 文化・芸術活動 : 県大会出場、各種コンクール入賞等の実績がある者</p> <p>(3) 生徒会活動 : 生徒会役員、各種委員長を務めた者</p> <p>(4) ボランティア活動 : 継続的に活動した実績がある者</p> <p>(5) 資格 : 資格等を取得している者</p> <p>(6) その他 岩手県スポーツ特別強化指定校の指定を受けている本校ウエイトリフティング部に入部を希望し、3年間活動する強い意志をもち、次のいずれかに該当する者</p> <p>ア 運動部に所属し、県大会で主力選手として活躍した者、またはそれと同等の実力が認められる者</p> <p>イ 新体力テストの成績がA段階である者</p> <p>ウ 現在「いわてスーパーキッズ」に認定されている者</p> <p><本校にある部活動></p> <p>運動部 : ウエイトリフティング、硬式野球、ソフトテニス、バスケットボール、卓球、柔道</p> <p>文化部 : 吹奏楽、美術、料理、工学研究</p>		
検査内容	<ol style="list-style-type: none"> 面接 個人面接（10分） 作文 提示されたテーマについて600字以内で自分の考えをまとめる（50分） 		

選抜方法	1 調査書 (180点) : 9教科の評定合計 (1年45点、2年45点、3年90点) 2 実績 (170点) : 調査書及び志願理由書に記載されている実績 3 面接 (100点) 4 作文 (50点) <合計500点> ※ 合計点をもとに、総合的に判断して選抜する。
一次選考の有無	実施しない

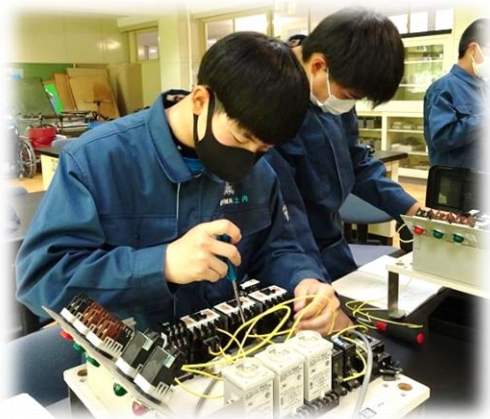
(2) 一般入学者 (令和5年度)

学科名	定員	選抜順序・割合 (%)			作文	適性検査	傾斜配点
		学力検査：調査書 A選考=5：5					
		I	II	III			
電子機械	40名	A100			無	無	無
建設環境	40名	A100			無	無	無

4 特色ある教育活動

(1) 学習活動

- ア 電子機械科、建設環境科では充実したコンピュータ設備等を使用して、実習・製図・課題研究など多様な授業により生徒個人の適性・能力を伸ばします。
- イ 2年生では、久慈管内企業において3日間の就業体験（インターンシップ）を実施し、職場体験をとおして職業観を育成し、将来の進路の決定に役立てます。
- ウ 個々の進路目標実現を目指し、進路希望に対応するコース制を実施します。
建設環境科では2年生から「環境土木コース」または「建築コース」を選択して各専門分野を学習しています。
- エ 各学科の特色を生かして、各種資格や検定の取得に力を入れています。
(パソコン利用技術検定、3級技能士検定[普通旋盤作業・シーケンス制御]、3級土木施工管理技術検定、測量士補、建築施工管理技術検定、各種危険物取扱者、計算技術検定、漢字能力検定、リスニング英語検定、英語技能検定など。才高校の魅力化促進事業実施校として、地域連携による教育活動の充実により地域理解を深め、地域の将来を担う専門技術を身につけた人材の育成を目指しています。

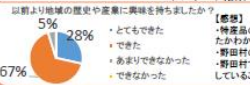


1 地域の教育資源を活用した取組

1年生 地域理解と深い学び

①のだ塩工房の見学・塩づくり体験 (R3.10.6)
野田村に古くから伝わる「のだ塩」の製造工程や歴史を学んだ。実際の塩づくりも体験し、村の伝統産業について理解を深めた。

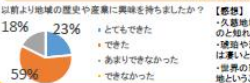
アンケート結果



2年生 地域産業と工業技術

②琥珀博物館の見学・琥珀採掘体験 (R3.9.27)
久慈琥珀について見学・採掘体験をし、授業で学ぶ研磨加工や掘削などの技術が現場でどのように生かされているかを学んだ。

アンケート結果

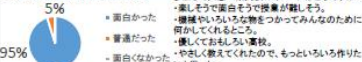


2 これまでの取組の継続と改善

①小学生ものづくり体験教室 (R3.7.27)

近隣の小学生を対象としたものづくり体験 (オリジナルネームプレート・木工作品) を実施した。(参加児童24名)

アンケート結果



②小学生読み聞かせ (毎月第一水曜日)

図書委員が野田小学校で読み聞かせを行い、本や物語の魅力を伝えた。今年度で活動8年目。



③部活動等の活躍

インターハイ出場
ウエイトリフティング部 四役機真67kg級

高校生ものづくりコンテスト東北大会出場
木材加工部門 大矢隆斗



④高校見学会 (R3.10.27) ※台風の影響で中学生体験入学を中止し、代替として開催

台風の影響で中学生体験入学が急遽中止となり、代替として開催した。久慈市・野田村と連携し、各中学校までの巡回バス (3台) を運行。(参加中学生36名)

アンケート結果



3年生 技術の深化と地域貢献

③地域特産品表示プレート

久慈合庁県民ホールの地域の特産品表示プレートを製作し寄贈。



⑤ドローン講習会・空撮寄贈

地元企業から操縦や飛行測量技術を学び、保育所へ空撮寄贈。



⑦地域人材による講習会

技能検定や施工技術者数人に對して地域の技術者による講習会を実施。



⑨業種監視いかだの開発

NP法人北いわて未来ラボと協働でウニ業種研究用の業種監視いかだの開発に挑戦。



⑪課題研究発表会

課題研究で取り組んできた地域貢献の内容を発表。



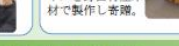
④プログラミング出前授業

近隣中学校4校でプログラミングの出前授業を実施した。



⑥村産材カウンターテーブル

野田村イベントで活用されるカウンターテーブルとイスを野田村産木材で製作し寄贈。



⑧マスコットキャラの3次元模型

久慈市マスコット3次元で設計、3Dプリンターで製作し寄贈。



⑩滝ダムペーパークラフト図面

ダムの役割・構造に興味を持ってもらうためのペーパークラフト図面データを製作し県へ寄贈。



企業との連携や地域人材の活用など

⑩復興教育講演会

震災の被災地で人命救助や生活支援などを行った自衛隊による講演、特殊車両・装備品の見学を行った。



⑬野田学講義

オンラインによる大阪大学の野田学講義を受けた。



⑮土砂災害避難訓練

土砂災害を想定した避難訓練を実施し、野田村防災官からレクチャーを受けた。



⑰資格取得用資材の提供

電気電気工業工業組合や(株)ツガワから資格試験の練習用資材の提供。



⑭ドローンの提供

宮城建設(株)から実習等で活用するためのドローンの提供。



⑯橋梁点検実習

県土整備部と協働で久慈地区の県道の橋の点検作業を実施。



⑱地域理解職員研修

久慈地下水産物もぐらんぴあで地域の産業や防災について研修。



⑫聖火リレーボランティア

東京2020オリンピック聖火リレーのボランティアに全校で参加。



⑬医療従事者応援はがき優秀賞

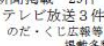
美術部が医療従事者に感謝を伝えるはがきプロジェクトに参加し、2作品が優秀賞に選定。



3 積極的な情報発信活動

①報道機関等への情報提供

新聞掲載 29件
テレビ放送 3件のほか、くじ広報等掲載多数



②学校紹介パンフレット

美術部と協力して学校紹介パンフレットを作成。



③学科紹介動画

生徒インタビューも入れた学科紹介動画を作成し、HPにも掲載



④野田村PR動画出演

野田村の食材を活用した新料理開発ドキュメントを中心とした野田村PR動画の作成に料理部が全面協力。



⑤建築展

建築コースの課題研究作品や実習作品等を中心に久慈市内で展示会を実施。



(2) 特別活動等

文化祭(久慈工祭)や校内体育大会を実施しています。運動部は、硬式野球部、ラグビー部、ウエイトリフティング部、卓球部、ソフトテニス部、柔道部、バスケットボール部があり、特に、ウエイトリフティング部はインターハイ、国体等の全国大会で入賞者を多数輩出しています。令和4年度は団体優勝を果たしました。文化部は、美術部、吹奏楽部、料理部、工学研究部があります。料理部では、地元野田村の豊かな食材を使用した「野田村パエリアプロジェクト」に参加しています。

また、図書委員会による小学生読み聞かせ活動や、東京オリンピック2020聖火リレーボランティアへの全校生徒参加など地域貢献に積極的に取り組んでいます。



5 校長からの一言

中学生の皆さん、本校は工業教育を専門とする高校です。昭和55年に県北沿岸地区唯一の工業高校として創立され、地域とともに歩みながら、令和2年度に創立40周年を迎えました。

学科は、電子機械科、建設環境科を設置しています。それぞれの特色を生かした専門教育の学びを通じて、自分を成長させていくことができます。また、部活動も盛んで全国大会に連続出場しているウエイトリフティング部をはじめ運動部・文化部ともに充実した活動を行っています。

在学中に磨いた工業の確かな専門力を武器に進路希望を達成しています。就職は企業の手厚い支援に支えられ、進路決定率は11年連続100%と圧倒的な強さを誇っています。工業系の4年制大学や短期大学校への進学も増加してきています。

近年、技術革新の進歩により女子生徒の採用を求めている企業が大変増えてきています。「我こそは」という女子中学生の皆さん、是非本校でチャレンジしてください。

久慈工業高校は、3年間の学校生活を通じて学力と人間力を身に付け、卒業後は立派な社会人として活躍できる人材の育成を目指しています。工業技術を身に付け、地域の発展に貢献したいと考えている中学生の皆さん、本校で自分の未来を切り拓きませんか。

本校の日常の活動や生徒の様子をホームページで随時お知らせします。引き続きご覧ください。

6 必要経費について

新入生（令和4年度入学生の場合）

■入学金 5,650円

■一括諸納金・各科教材費 50,860～51,468円（学科による）

■教科書・体育用具 38,448～39,353円（学科による）

■制服購入 男子 69,000円（内訳：制服上下1、替えズボン1、半袖開襟シャツ2、バッジセット1）

女子 67,500～77,700円（内訳：ブレザー・ベスト・スカート・ネクタイ各1、バッジセット1）

※令和3年度以降の入学生に対し、久慈工業高等学校守り育てる会より制服購入費用の一部（上限3万円）の助成が受けられます。

■諸会費（PTA会費・部活動後援費など）

口座振替により4月から翌1月までの年10回（1回当たり7,410円（年額74,100円））

7 公立高等学校等就学支援金制度に関する県教育委員会からのお知らせ

- （1）平成26年度から県立高校の授業料に高等学校等就学支援金制度が導入されました。
- （2）この制度により、一定の所得未満の家庭の高校生は授業料の納付が不要となりました。
- （3）一定の所得未満とは、保護者等の所得について、以下の算定式により計算した額が、30万4,200円未満の場合です。（年収目安約910万円未満）。
【算定式】課税標準額（課税所得額）×6% - 市町村税の調整控除の額
- （4）手続き等については、入学手続き関係書類の送付と併せてお知らせする予定ですが、制度について詳しくお知りになりたい方は、下記の文部科学省ホームページ「高等学校等就学支援金制度（新制度）について」をご覧ください。http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/index.htm

【参考】県立高校授業料・通信制受講料

全日制（月額）9,900円 定時制（月額）2,700円 通信制（1単位）190円